

経営のいずみ

ホームページ URL ● <http://www.shokoren-nara.or.jp>



含羞の木の花

ねむの木は、梅雨期から夏にかけて、ピンク色の扇のような花をつける。その開花は、毎年、夏の到来を告げるかのように咲きだす。吹く風にふんわりと揺れる毛のような花は、人間の目のまっつけのようであり、英名を「シルク・ツリー」と言い、束ねた絹糸の印象からだと言つ。

朝ではなく、夕暮れ時になると開花し、夜になると葉と葉が重なり、たたまれ、垂れ下がってくる。

これは葉の付け根にある小葉枕と言つ部分が蝶番の役割をし、水分を調節(蒸発防止)することによって生ずる動きである。まるで夜に合わせて、眠りにつく動物のよう、ねむの木と名づけられたようです。

秋田県では、お盆近くになると、この葉を摘んで乾燥させ、白でひいて一年分の抹香をつくり、仏壇でたく抹香木と呼ばれています。

その名前は、皇后殿下の「ねむの木の子守歌」のように、「やさしさ」「や」「いやし」のイメージを秘めています。

江戸時代には、芭蕉や蕪村の「奥の細道」の中の俳句にも歌われています。

「象潟や 雨に西施が ねぶの花」芭蕉 (大意) 東北の象潟にやってきて、雨に濡れているねむの花をみて、中国

春秋時代の美女、西施のことが思い出される)

また、北原白秋は、「夕野良の 小藪が下のねむの花 もも色薄う 揺れて霧の雨」と歌っています。

結構、私達の身近なところで、この花は人知れず咲いています。

● C O N T E N T S ●

含羞の木の花..... 1	「吉野ゆめまち遊YOU市」..... 5
商工会役職員研修会..... 2	中吉野地区商工会「ビジネスカレッジ」開講..... 6
葛城地区商工会広域協議会が設立総会..... 3	がんばる中小企業..... 7
「奈良の土産物」開発支援事業 参加事業者募集！... 4	「へ〜」のいずみ..... 8

商工会役職員研修会

賢者の選択 今、世界の経営者が考えていること

6月18日(月)、県商工会連合会は、大和高田市の県広域地域産業振興センターにおいて、商工会役職員研修会を開き、約400名が耳を傾けた。

久保県連会長の開会のあいさつに続き、国際ジャーナリストで明治大学文学部教授、蟹瀬誠一氏を講師に「賢者の選択 今、世界の経営者が考えていること」とのテーマで、講演にはいった。

氏はまず、これからの時代は従来の常識が通用しなくなると指摘。

金利があがると国民の可処分所得が増え、それが増えると消費が増え、消費が増えると景気が良くなるというのがこれまで「好景気の循環の輪」とされてきたが、現実の問題として、今

9年度商工会役職員研



講演する蟹瀬氏

日、金利が上がっても好景気に結びついていない。

政府は「景気は回復基調」というが、国民にとってその実感はない。

国際社会はフラット化社会を目指しており、各国間で格差のあった給与も平準化をめざすため、日本のサラリーマンの給料は、なかなか上がらなくなってきた。フラット化の影響である。

一方、日本経済の潜在的な成長力は、専門家の見方で、年1.7-1.8%あり、しっかりとしたもの。景況感に左右されず、構造改革を進めることが大切だ。

これからのわが国は、着実に高齢化社会に突入していく。この社会をどのように豊かなものにしていくのか。その鍵は50歳以上の人々を中心になって作っていくべきだ。

また、そういう高齢化社会を前提にした必要とされるモノを創れば良く売れるはずである。

一方、若い女性向けの化粧筆は、今やわが国(広島県産)の商品が世界の市場を席捲した感がある。

この商品を創る技術力もさることながら、ハリウッド女優に使ってもらうことから、市場進出を果たした。あこがれのスター達が使っているものを自分も使いたいという消費者心理をうまく利用したものだ。

スポーツ用品メーカーのアディダスの社長は「この世の中、三種類の人間から成り立つ。コトを起こす人、コトが起きるのを見ている人、何が起きているのか分からない人の三パターンである」と分析、何が起きているか分からない人よりはコトが起きるのを見ている人(目撃者)、目撃者よりは当事者になりたいと持論を述べている。

アサヒビールを立て直した元銀行マンの樋口広太郎氏は、ドライビールを売り出す時、社内にも反対する人が多かった。しかし彼は、前例がないからこそ、やる価値があると信念を貫いた。失敗すれば責任を取る覚悟でやれば良いとピンチをチャンスに変えた。

女性下着メーカー、トリンプの社長はコーヒーマーカーから転進した人。社員の低い意識を変えるために、早朝会議、残業禁止と共に、午後1時から3時まで外からかかる電話に一切出ないで社員が集中して仕事に打ち込める時間を設けた。最初はクレームをつけられたが、その

時間帯はかけても電話がつかないことが分かっていたので周りの会社からも電話をかけてこなくなった。このほか、休暇は思い切って2、3週間取れと言って意識改革に乗り出し成功した。良いと考えることはほとんど導入する。企業は経営者の信念があれば伸びる。

ネスレコンフエクシヨナリーの高岡社長は、市場調査はコストばかりかかるとして中止したが、2月になると九州地域で自社製品のキットカットが良く売れ出すのには注目していた。

情報を集めてみると、受験生が縁起をかついで、きつと勝つという意味を込めて買って欲していることに気がついた。そこでゼツタイに勝ちたい時に、プレゼントとして贈ることをセールスキャンペーンにした。

また、最近、財政破綻した北海道の夕張市を皆で応援しよう(と商品(キットカット)に10円上乗せ(寄付)キャンペーンをしている。消費者にわずかでも社会に貢献しているという満足感を売っているのだ。

最後に氏は「どんな時代にも、企業にはミッション(使命感)、バッション(情熱)、ファッション(時代の流れを掴む)、コンパッション(共有する)という考えが必要ではないだろうか」と結んだ。

今年も

「山灯り塾」開講

吉野町商工会

吉野町商工会中井神一(会長)は、このほど町内の特産品である杉やヒノキの木材(板材、丸太材)や和紙を使ってスタンド(照明器具)を作る「山灯り塾」をスタートさせた。

この山灯り塾は、今年で9年目を迎え、商工会はもとより、町、森林組合、観光協会、製材組合等、町内の各団体で実行委員会を組織し、8月4日(土)、5日(日)には、地元、上市商店街でコンテスト展を行う。

江戸時代から紀伊徳川家も参勤交代に通った松阪街道の一部、上市の古い町並みの路上に各作品が並べられ、夕闇の中、幻想的な雰囲気醸し出し、近年の同町の新たな夏の風物詩となっている。

6月16日(土)午前9時半。会場の県立吉野高校(飯貝地区)実習室には、県内外から約40名の受講生らが集合。友達と連れだって参加する人もあり、現地知り合いや友達になる人々



千田講師から説明を受ける受講者たち

()も。
 当日は、5月20日の第1日目
 に続いて第2回目の開催。
 第1回目では素材作りの現場
 確認ということで吉野山南奥の
 青根ヶ峰までバスで出かけた。
 指導講師の千田要宗氏(デザ
 イナー)から杉、ヒノキ材の角
 度による見え方、使い方、街灯
 として使う場合の蛍光灯の種類
 などについて説明を受けた。こ
 の日までに、まだデザインが決
 まらない参加者が6名ほどいる
 ため、吉野高校の教諭ら5名の
 アドバイスと支援を受けながら、
 参加者らは、世界に二つとない
 照明器具のデザインを考案、楽
 しみながら製作に没頭した。

市町村の枠超え「広域連携」体制 葛城地区商工会 広域協議会が設立総会

葛城地区の王寺町、河合町、
 上牧町、香芝市、葛城市、広陵
 町、御所市、高取町、明日香村
 の9つの商工会が、横の連携を
 更に強め、今後、会員の多様化
 専門化するニーズにも対応でき
 る体制づくりをと、広域協議会
 の設立総会が7月3日(火)、広
 陵町商工会館で開かれた。

この日、午前10時から開催さ
 れた同総会には、奥田喜則県商
 工労働部長(現総務部長)をは
 じめ、平岡仁広陵町長、久保県
 連会長らが来賓として臨席し、
 9商工会から、会長ら代表者ら
 が出席した。

冒頭、柳原清八郎設立発起人
 代表は「各商工会の得意分野を
 活かし、会員の多様で専門的な
 ニーズに積極対応していきたい。
 新しい団体になり、問題も発生

- するとと思うが、それを乗り越え、
 信頼される団体として組織強化
 を図っていききたい」と挨拶。
- 各来賓から祝辞が贈られたあ
 と、議案審議に入った。
- 平成19年度の事業計画として、
 経営セミナーの開催、同協議会
 ホームページの作成、職員の資
 質向上を図ることなどを原案通
 り承認した。このあと、役員選
 任の案件に移り、次のように決
 まった。(敬称略・順不同)
- (会長) 柳原清八郎(上牧町)
 - (副会長) 岸 為治(香芝市)
 - (理事) 関 武明日香(村)
 - 辻本 昌司(王寺町)
 - 松井 米蔵(河合町)
 - 吉川 隆志(広陵町)
 - 西辺 豊彦(御所市)
 - 高木 正年(葛城市)
 - 西川 幸雄(高取町)
 - (監事) 高木 正年(葛城市)
 - 西川 幸雄(高取町)



設立総会の様子

(カッコ内は所属商工会)
 この葛城地区商工会広域協議
 会の誕生で、平成14年度の県マ
 スタープランにより、同16年度
 から進められてきた県内広域連
 携指導体制の構築が8ブロック
 として完了することになる。

会長に就任した柳原氏は「厳
 しい財政状況の中だが、先発の
 他広域協議会に負けないようし
 っかりやっていきたい。皆さん
 のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

尚、広域協議会事務局は、広
 陵町商工会に設置された。

商工会会員のみなさまへ

2006年度の業績は、会員のみなさまの深いご理解と幅広いご支援をいただき、順調な成果を上げることができました。
 今後も商工会様とのパートナーシップを尊重される生命保険会社を目指してまいります。

2006年度決算報告より

ジラルタ生命保険株式会社
 コールセンター 0120-372269 ミナジブロック
 ホームページ <http://www.gib-life.co.jp>

保険料等収入	個人保険新契約高	基礎利益
4,279億円	2兆27億円	162億円
ソルベンシー・マージン比率	格付け	(2007年5月末現在)
1,150.2%	S & P社 保険財務力格付 AA	ムーディーズ社 保険財務格付 Aa3

格付けは格付会社の意見であり、保険金支払等については保証するものではありません。

～魅力ある奈良の土産物新商品を開発してみませんか～
平成19年度「奈良の土産物」開発支援事業 参加事業者募集！

奈良県がデザイナーや販路開拓アドバイザーなど専門家を派遣し、事業者のみなさんの新商品開発を支援します！

1 募集締切

平成19年8月20日(月) 必着

2 問い合わせ先及び応募先

奈良県商工労働部地域産業振興係

〒630-8501 奈良市登大路町30 TEL 0742-27-8804

ホームページアドレス <http://www.pref.nara.jp/syoko/>

3 応募要件

県内に事業所を有する製造・販売業者で、自社製品として奈良の土産物新商品の開発を計画している事業者等

4 奈良県の支援内容

選定した事業者へ商品開発やデザイン等の専門家を派遣し、事業者の考えている土産物新商品開発を支援します。

10事業者へ最高3回まで専門家を無料派遣

試作品展示等によるモニター調査を行います。

代官山iスタジオを活用した展示即売会などを通して、「新しい奈良の土産物」として情報発信・PRを実施します。

商品開発経費、試作品作成経費等は事業者の負担となります。

5 応募方法

「奈良の土産物開発事業参加希望調書」に必要事項を記入の上、奈良県商工課地域産業振興係あてに提出ください。 締切：平成19年8月20日(月) 必着

参加希望調書様式は、奈良県商工課ホームページ(<http://www.pref.nara.jp/syoko/>)からダウンロードできます。

詳細につきましては、奈良県商工課ホームページをご参照いただくか、上記問い合わせ先までご連絡下さい。



平成19年度

**「(小規模事業者)新事業
 全国展開支援事業」に取り組み**

葛城市商工会、大宇陀商工会

全国の商工会や商工会連合会が、地域の資源を活かした特産品開発・観光資源開発と、その販路開拓をテーマに、全国規模のマーケット獲得を目標にした新事業全国展開支援事業に県内2商工会が今年取り組むことになった。

この2商工会は、葛城市商工会(高木正年会長)と大宇陀商工会(芳村壽郎会長)で、いずれも、今から成果を期待する声があがっている。

まず、葛城市商工会だが、計画書によれば、旧富麻地区の竹内街道は、大阪(なにわ)と奈良(明日香・平城京)を結ぶわが国最古の官道が東西に走り、司馬遼太郎氏の母親の出身地であったことから、幼い頃、母と共に里帰りの同氏が遊び、氏の原風景の一つとなっていたと言われる土地柄。

また、江戸期には松尾芭蕉も弟子を訪ねる際、同地を訪ね句を残している。

この他、二上山や葛城古道などの歴史的観光資源にも恵まれ

京阪神都市圏への近接性を活用し、観光ルートの開発、ボランティアガイドの育成、特産野菜を用いた名物料理の開発、特産品と結びつけた体験プログラムの開発等を行い、葛城ブランドの確立など、集客、交流プロジェクトに挑戦する。

一方、大宇陀商工会だが、中心地区の松山地区は、江戸時代の面影を色濃く残す土地柄。古くから、伊勢や奈良、大阪と吉野を結ぶ交通の結節点だったところ。



竹内街道(葛城市)の光景



大宇陀のシンボル 松山西口関門(黒門)

同町は、昨年、旧榛原町、旧菟田野町、旧室生村と合併し、宇陀市が誕生する直前に、民家や堀、水路等244件を国に「重要伝統的建造物群保存地区」の申請をし、指定を受けた。(県内では橿原市今井町に次ぎ、2件目)

そして、これらの歴史的文化遺産や旧薬園、道の駅、温泉施設などの観光資源や、吉野葛などの特産資源を素材として、商工業者が住民と共に特産品づくりや観光客の町内回遊と来訪者の滞留をめざすプラン作りに挑む。

全国商工会連合会では、全国で約136カ所を選び、専門家を派遣するなど、同事業に取り組んでもらう予定。

また、全国の同事業で新たに作られた特産品の商談会をおこなう予定。

レポート

「吉野ゆめまち遊YOU市」

吉野町商工会

毎月、第3土曜日に、吉野町の吉野大橋南岸の広場に14の店個人、団体などが自店の手作り商品を持ち寄り、午前9時から朝市を開くとの情報を入手し、早速、取材に出かけた。

テント張りの小さな共同店舗だが、お客さまとの活発なやりとり、生き生きとした空気を感ずる。

この市を主催する「遊YOU市振興会」の梅谷清二会長は、町内で明治以降、味噌や醤油を製造、販売する老舗の醸造元。

この「遊YOU市」の良い点は人と人の温もりだということ。

この地に「市」を開くようになって4年。その前は吉野川対岸の国道16号沿い旧吉野警察署隣の空き地で2年ほどやってきたという。

お客さまは、8割から9割方が町内のお客さまだという。

テナント内の店では、自慢の味噌などを販売する。

向かいの店では、パンを売る店、生卵を売る店、隣り店では朝菜り野菜やこんにゃくや豆腐も売られている。

急に入ってきたお客さんが

「今日はいいたけ屋さんに来てないの?」と失望よりも不満の様子。固定客のようだ。

パン屋さん「今日は、先着50人に限らず、フルーツティーをサービスするよ」と一杯のジヤム湯が、セルフ店にはない客と店主の交流の輪を作る。

たまご屋さんの卵は、サンブルとして小鉢の中で見ることで、白身部分が2重になっており、中央部分の黄身が盛り上がっている。新鮮さが一目で分かるというやつである。アツアツのご飯にかけたら最高という訳だ。

世間では今、モノがうれなくてどうしようもないという声をよく耳にする。

こうしたお客さまとの対話や交流こそが商売の原点のような気がする。

自分の出す声、お客さんの声でお互いを確認しあい、信頼の基盤ができる。

今は小さくても、将来の町内商業を担う人がここから育ってほしいものという気がした。

奈良県の地場産業

「履物デザイン展」開く

6・19〜7・22

県商工観光館で

奈良県の代表的な地場産業の一つ、革靴やサンダルなど、履物のことについてもつと県民、特に北和地域の人々に一人でも多く理解してもらおう機会を提供しようと、県などは近鉄奈良駅前の県商工観光館2階の県民ギャラリーで、御所市などが主催する「サンダル履物コンテスト」の受賞作品など40点以上を展示した。

初の展示会

サンダル履物コンテストの受賞作品は毎年、同コンテストが行われる御所市産業振興センターに常設されている。

また、近鉄百貨店での県特産履物市で、展示販売されるほか一般の人がこれら履物に見たり触れたりする機会は少ない。

会場内には、御所市で開催された第18回、第19回のサンダル履物コンテスト受賞のデザイン画とその試作品15点、奈良靴産業協同組合主催の製靴デザインコンクール入賞作品6点が展示

この「サンダル履物コンテスト」のデザインや試作品は、日頃、一般の人があまり目にするものがないので、斬新で独創



デザイン画と実物(試作品)

的なデザイン画とそれを具体化した試作品が同時に鑑賞することができる。(写真)

一方、製靴技術デザインコンクール入賞作品は、全国でも高い評価を得ている奈良県の紳士靴熟練職人によって作成されたもので、洗練されたデザインの力作が展示されている。

なお、会場には来年度のサンダル履物コンテスト応募要綱も用意されている。

同展は、6月19日から7月22日まで開催された。

● 中吉野地区商工会ビジネスカレッジ ●

受講者募集中！

中吉野地区商工会広域協議会

内 容

高齢化社会が進むわが国においては、介護福祉ビジネス産業のサービス向上と充実が求められています。このセミナーはわが国の福祉政策の流れ、介護サービス市場の動向、介護ビジネスの手続きから開業後の事務処理に至るまでの介護福祉関連分野進出をお考えの方々を対象とした実務型セミナーです。

開催場所

下市町商工会館 研修室 〒638-0041 奈良県吉野郡下市町下市125番地

開催日時及びカリキュム

	内 容	開催日時	講 師(敬称略)
介 護 事 務 講 座	午前 介護に関する基礎知識 ・高齢者を支える仕組み ・高齢者の自立のための介護予防 介護保険制度の仕組み ・要介護認定について ・介護サービスの種類と自己負担	平成19年9月1日(土) 午前9時～12時	社会福祉法人 功有会 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 大和園平和 社会福祉士 介護支援専門員 米田 鋭一 氏
	午後 高齢者等の心理と職業倫理 ・高齢者の生活・行動と心理 ・高齢者の家族に対する理解 ・介護関連サービス従事者の職業 倫理と基本姿勢	午後1時～4時	
	介護報酬の算定	平成19年9月8日(土) 午前9時～午後4時 (お昼1時間休憩)	有料老人ホーム ルナハート千里丘の街 野中 小江 氏
給付管理と請求の実務 ・サービス利用票 ・介護給付費の請求 演 習 ・介護給付費明細書の作成	平成19年9月15日(土) 午前9時～午後4時 (お昼1時間休憩)		

定員及び受講料 定員50名とし、受講料10,000円を徴収します。(商工会会員は受講料7,000円) 但し、テキスト代は別途徴収します。

受講申込について 受講希望の方は、8月10日(金)までに、住所、氏名、年齢、職業、電話、Faxをご記入の上、中吉野地区商工会広域協議会までお申し込み下さい。

受講申込先 (お問い合わせ先) 中吉野地区商工会広域協議会 Tel 0747-52-9558 Fax 0747-52-8397
大淀町商工会 Tel 0747-52-9555 下市町商工会 Tel 0747-52-8717
黒滝村商工会 Tel 0747-62-2128 天川村商工会 Tel 0747-63-0818

がんばる中小企業

中小企業の強みは

全社集中でできること

(株)スエヒロPEM(四日市市)

今、世間では、化石燃料としての石油燃料の限界論や、環境にやさしいエタノール燃料の活用などが活発に議論されている。米国やブラジルの飼料用トウモロコシがエタノールに転用できるために値上がりが激しくなってきたとか、サトウキビもエタノールに転用できる原料になるとか、給油所で給油開始とか言った話題でもちきりである。それでは、これらのエタノールを作るには具体的にどうしたら良いのか。

原料から液物を絞る機械を製造する業界はどのような状況かと言えば、実は中小企業がそのシェア90%以上を占めていた。三重県四日市市に本拠を持つ、従業員40人の中小企業がそれだった。その企業はスエヒロPEM(佐久間裕之社長)という会社だ。

この企業が、取り扱っている機械をスクリーンプレス搾油機といい、文字通り原料を絞り、液を抽出する機械なのだ。

この企業、創業は昭和28年、地元の末広町に末広鉄工所として、スタートした。外国製の機械をコピーすることから、最初は取り組んだ。さまざまな試行錯誤を繰り返しながら、独自技術(ノウハウ)の必要性を痛感した。苦しみながらもオリジナル技術によるスクリーンプレス搾油機の開発、商品化に到達し、今日の圧倒的シェアを獲得への道を切り開いていく。

文字通り、全社一丸となった取り組みであった。

同社の佐久間社長は「中小企業の強みの一つは、全社集中でできること。一つのことの特化できることだ」と語る。

「他のどの企業の追従も許さぬオンリーワン企業の道をこれからも進んでいきたい」とも語る。今の社長は2代目。

「先代はあまり器用な人ではなかった。しかし、これしかないと思ったら、まっしぐらに前へ進む人でした。他のメーカーにとっては、搾油機なんて、い

くつもの分野の中の一つ」と控えめに言う。選択できる企業と集中できる企業との差だ。その意味、中小企業の長所を心得ている。

その後、搾油機だけではなく、近隣の飼料メーカーの外国製機械を偶然修理する機会に恵まれたのがきっかけで、エクストルーダー(粉碎、混合、押出まで行なう多機能型飼料製造機)の有望性をキャッチ、独自技術で国産機種を生産するまでになる。同社の新たな中核商品に育て上げた。失敗を恐れず自社独自の技術を次々と蓄えていく社風は、こうした歴史の中で築きあげてこられた。

新しい機械の開発に取り組むその姿勢は、わが国モノ作り企業の見本であり、このたび、経済産業省の「モノ作り中小企業30社」にも選定された。

その同社が今、これまで予想だにしていなかった引き合いに大わらわだという。エタノールブームで国内はもとより、海外からも搾油機の商談が舞い込んでおり、営業が席の暖まる間もない程走りまわっている。

「ビッグチャンス到来」と周囲ははやし立てるが、社長は、そうなればいいですが」と冷静に対応する毎日である。

8月・9月の無料相談

あなたの悩みや問題を 弁護士、中小企業診断士へ 弁護士、中小企業診断士へ

秘密厳守

商工会では、商工業者の皆様の無料相談所を開設しています。借地・借金・金銭・不動産売買による紛争、交通事故などの法律問題、店舗の改装・経営の改善・金融などの経営問題、お買物相談を県商工会連合会の顧問弁護士、中小企業診断士の先生方がご相談にあたります。

今回の開催は左記の地区となっております。お悩みの方は地元商工会へお申し込みください。尚、相談による秘密は厳守いたしますので、安心してご相談ください。

2 回 目		1 回 目	
対象地区	田原本町・川西町 三宅町・河合町・ 上牧町	対象地区	香芝市・ 葛城市(新庄・当麻) 王寺町・広陵町
相談日	8月29日(水)	相談日	8月22日(水)
申込期限	8月15日～8月22日	相談日	9月7日(金)
対象地区	大淀町・下市町・ 天川村・黒滝村	相談日	8月24日～8月31日
相談日	9月26日(水)	相談日	8月8日～8月15日
申込期限	9月12日～9月19日	相談日	8月15日～8月22日

法律以外の相談日については右記以外の日となります。相談場所や時間等、詳しいことは地元商工会もしくは奈良県商工会連合会へお問い合わせください。

奈良県商工会連合会 TEL(0742)2214413(ダイヤルイン)

全国の「ランキング」

数値から見た奈良県

先ごろ、県統計課から小冊子が発行された。

「1000の指標からみた奈良県勢」(5000円)という冊子。

全国の都道府県別ランキングが全国平均と共に示されている。興味深いものが含まれているので、ほんの一部を以下にご紹介してみる。

本書によると、奈良県が他府県に比べて全国第1位を占めるものが、1000の指標の中に2つある。

一つは県外就業率である。これは文字通り、県外就業者数を総就業者数で割った数字であり大阪府、京都府に隣接する土地柄が、28・98%で第1位。就職者の約3割が県外で働いていることになる。

ちなみに第2位は埼玉県、第3位は千葉県と関東圏。

もう一つの全国第1位はというと、一世帯当りの新聞頒布数が、一、三八部で全国トップである。これも新聞頒布部数を総世帯数で割った数字である。ところが、経済産業省の商業統計に

よる書籍・雑誌販売数一人当たり(が)、逆に全国第47位でビリである。新聞は好きでも、書籍・雑誌が嫌いな県民ということだろうか。

およそ5年前の平成13年頃には、新聞頒布数が今より多く、平均一、四二部だったというから驚きだ。

この他、全国第2位が2つ。ピアノ所有台数(千世帯当り)が353台と栃木県に次いで多く、柿収穫量が26、400トンと和歌山県に次いで第2位。但し、和歌山県は本県の約2倍の52、100トン。

この他、全国第3位となる国宝・重文の指定件数(1、387件)は、東京都、京都府に次いで多い。

逆に、年間商品販売額(卸売小売、従業者一人当り)は、全国第46位で、農業産出額も第45位というあまりうれしくない順位。ちなみに製造従業者一人当りの製造品出荷額は全国第24位。市町村別の指標も記されていて興味深い数字が満載。

当麻まるごと体験ウォーク

参加者募集

開催日

第1回 平成19年9月22日(土)
第2回 平成19年9月29日(土)
参加費 大人1000円

子供 700円(小学生以下)

コース(約5キロ)
集合10:00

当麻寺駅(近鉄南大阪線) 相撲館(受付) 当麻寺 石光寺 当麻の家(昼食・小麦餅つき・サツマイモ掘り体験) オプションで野菜つみとりあり
解散15:00頃

二上神社口駅(近鉄南大阪線)

申込み方法

往復はがきの場合
参加希望日 9/22又は9/29
参加者全員のお名前 年齢
御住所 電話番号をご記入の上

下記の住所へ送付してください。
〒639-0272
奈良県葛城市新在家402-1

農事組合法人 当麻の家

(返信用に住所氏名を記入してください)

FAX 0745-48-2611

募集人数 各回につき先着90名まで

お問い合わせ 農事組合法人 当麻の家

電話 0745-48-7000

主催 当麻まるごと体験

ウォーク実行委員会

F男の

「へ」の いずみ

21

雑学のムダ知識

都道府県名の起源と由来について

昨年、近畿の各府県名の由来について、ご説明したことがあった。今回は、その第2弾として中部地方を特集する。

〔愛知県〕 アイチとは湧水の

ことを意味する。弥生時代には、稲作が始まったので人々は湧水のあるところに集落を作って生活していた。その名残が地名になった。

〔三重県〕 「み」は、神を意味する。また、「え」は、辺

のことで、「神のおわすあたり」の意。伊勢神宮の周辺地域のことを指す。

〔福井県〕 市内を流れる足羽川を福多い川と見なし、

川の字のかわりに水を意味する井の字をいれた。

〔岐阜県〕 「岐」の字は深く入り込んだという意味で

「阜」は岡を意味し、「深くなり込んだ丘陵地」を意味する。織田信長が入城した時に名づけた。

〔静岡県〕 もともと、府中とよばれていたが、不忠に通じるとして改称。市の周辺部にある賤機山(しずはたやま)からその名を取ったことが起源とされる。

〔長野県〕 善光寺の門前町、

長野が県名となった。両側を山にはさまれ、ほぼ南北に長く伸びる長野盆地から、その姿をそのまま表したものが地名となった。